

仏様のおはなし新シリーズ第141集「阿弥陀さまの願い」

今年の9月、長男が生まれました。子どもを授かってからというもの、街中で見かける子どもと保護者の会話が耳に入ってくるようになりました。その会話は様々ですが、「お利ロさんにするからお菓子買って?」「おとなしくしとくからおもちや買って?」という保護者へのお願いが聞こえてくることがあります。その言葉に「お利ロさんにしてたらね」「おとなしくしてたら考えとくね」と返すのでした。お利ロさんにしていたら…おとなしくしていたら…と懸命に努力をするのですが、買ってもらえるまでその願いが叶うかわからないので、子どもの表情は複雑です。

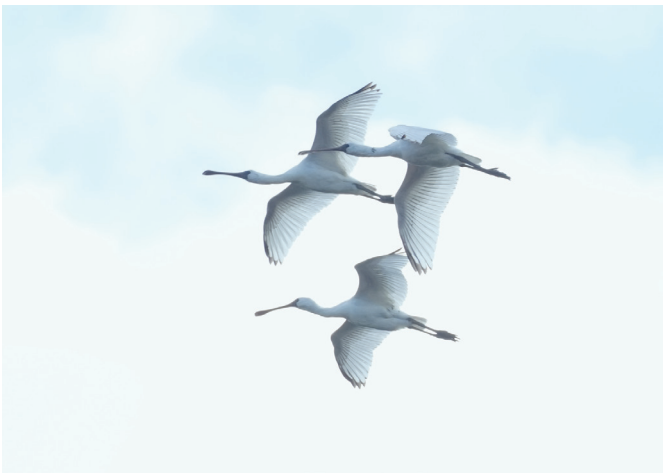
阿弥陀さまの願いはどうでしょうか? 阿弥陀さまは「あなたを必ず私の浄土に生まれさせる。そして、お願いだから南無阿弥陀仏とお念仏しながら生きておくれよ」と私に願いをかけ、現に今その願いの通りにはたらく続けてくださっています。「お利ロさんにしていたら生まれさせよう」だとか「おとなしくしていた者だけ生まれさせよう」というような条件付きの願いではありません。

親鸞聖人は「帰命尽十方無碍光如来」という阿弥陀さまのお名前・はたらきを通して、阿弥陀さまの願いを味わっていかれました。「帰命」とは阿弥陀さまの願いの仰せにしたがうこと、「尽十方」とはありとあらゆるところに阿弥陀さまのはたらきは満ちていること、「無碍」とは私がどんな状態であろうと阿弥陀さまのはたらきには妨げにはならないこと、「光如来」とは阿弥陀さまのこと。つまり、阿弥陀さまは絶えず私を呼び続け、その呼び声を聞く私がどんな状態であらうと、どんな状況であらうと特別な条件をつ

けず、「あなたは必ず私の浄土に生まれ
て帰ってくるんだよ」と南無阿弥陀仏の
お念仏となつてご一緒してくださる仏さ
まであるということです。

阿弥陀さまの「必ず」を「必ず」とその
ままにいただき、お念仏の一声一声に「私
が願うことも頼むことも必要なかつた
んだ。阿弥陀さまが先に決めてくださつて
おられたんだ」と阿弥陀さまからの願い
を受けとらせていただきましょう。

浄土真宗本願寺派福岡組



福岡組

検索